

宮澤さんにとっての「三島市」



静岡市の高校に入学して寮生活になったので、中学生まで三島市で過ごしました。20歳くらいまで、三島の夏まつりにも出かけていたのがいい思い出です。小さい頃から過ごしてきた場所なので、地元の三島が大好きです。上京したての頃は早く三島に帰りたいなんて思っていました。

どんな子ども・学生でしたか？

小学校3年生でサッカーの少年団に入ってから、中学、高校とサッカー漬けの毎日でした。子どもの頃から、やりたいことや自分が熱中できることはトコトンやるタイプで、妥協したくないし、負けたくないなって思っていました。その気持ちは今も変わりません。

これからの目標は？

俳優として沢山の作品に出る事が目標ではありますが、ずっと地元の三島市で仕事がしたいと思っていたので、今回広報みしまに掲載させていただける事が嬉しいです。次は三島市にもっと貢献できるような事ができればと思っています！



俳優

みやざわ ゆう
宮澤 佑 さん

三島市出身（29歳）。株式会社G-STAR PRO(ジースター・プロ)所属の俳優。現在、テレビ朝日系列で放送中の『爆上戦隊ブンブンジャー』に焔先斗/ブンバイオレット役で出演中。



宮澤佑さんからメッセージ

学生時代から今も、いろいろな人に苦労や迷惑をかけたりましたが、そんな時、周りの方々の支えがあったからこそ、今、俳優としての自分があるんだと思っています。皆さんも、『今、自分の周りにいる人、自分を見てくれている人』を大切に過ごしてください！

弦間さんにとっての「三島市」



大学は都内でしたが新幹線通学で、卒業までの22年間を三島で過ごしました。文教町のイチョウ並木を歩道橋から見るのが大好きで、今も黄葉の季節になると写真を撮りに行きます。静岡で再就職してもうすぐ2年となる今、かなりの頻度で三島に戻り、お世話になってきた多くの方々や街並みに触れて癒されています。

どんな子ども・学生でしたか？

好奇心と食欲が旺盛で、ピアノに英会話、書道をはじめ、生け花や水泳、中国語など、やりたいと思ったことは何でもやりました！小学1年生で始めたシャガリは今も続けていて、三嶋大祭りが楽しみで仕方ありません。誰かが笑ってくれる瞬間が嬉しくてお笑い芸人さんにもなりたいたと思っています。

これからの目標は？

友人に三島を案内するたびに「すごくいいところ」と言ってもらえます。地元の皆さんにはもちろん、縁のなかった人にも、いいところ、よりどころに感じてもらえるように三島の魅力を伝えていきたいと思えます！



アナウンサー

げんま あやか
弦間 彩華 さん

三島市出身（28歳）。大学卒業後、2019年にIBC岩手放送にアナウンサーとして入社。2023年1月にテレビ静岡に入社し、現在「ただいま！テレビ」などを担当。

弦間彩華さんからメッセージ

夢があるって、アツいです。この先どう歩いていくか考えると、ワクワクしたり、不安になったり。夢がないって、無限大です。どうにでも未来を描けます。これから「節目」や「変化」の時を迎えたとき、今皆さんの周りにあるものや何気ない景色が心の支えになることもあります。あなただけの素敵な瞬間を見逃さず、いつまでも大切にしてください！



大相撲力士
あたまふじ さくたろう
熱海富士 朔太郎さん

熱海市出身（22歳）。伊勢ヶ濱部屋所属の幕内力士。西前頭三枚目（令和6年11月場所）。2020年初土俵、2022年入幕。小学6年生から三島相撲クラブで稽古に励んでいた。

熱海富士関にとっての「三島市」

小・中学生のころは、週4日の稽古に自宅のある熱海市から三島市へ通っていました。高校生の時には、三島相撲クラブの杉山さん（右写真）のところに下宿させてもらい半年ほど三島で生活し、通学していました。ですので、三島は高校時代を過ごした思い出の場所です。



どんな子ども・学生でしたか？

「やることはしっかりやる」「それが嫌なことでもしっかりやる」性格だったかなと思います。小学生の頃から体も大きかったので、親にすすめられて三島のわんぱく相撲に出場したのが相撲を始めたきっかけでした。その大会で優勝して全国大会に出ましたが、負けてしまい、悔しくてその後も相撲を続けました。大相撲をしっかり目指すようになったのは、高校生になってからです。

これからの目標は？

静岡県初の三役を目指して一日一日を頑張ります！そして、地元の静岡岡をもっともっと盛り上げていきたいです！

熱海富士関からメッセージ

これから大人になっていくにつれて、周りを気にしたり、遠慮したりすることが増えてくると思います。子どもの時はあまり深く考えすぎずにやりたいことを思いっきりやってほしいです。やりたいことをやる勇気をもって、自分で選んで、自分でやると決めたことを頑張ってください。自分の頑張り次第で結果がついてくると思います！



プロ野球選手
こざわ れいじ
小澤 怜史さん

三島市出身（26歳）。現在、東京ヤクルトスワローズに所属（投手）。2015年ドラフト2位で福岡ソフトバンクホークスに入団しプロ入り。

小澤選手にとっての「三島市」

三島市で生まれ、子どもの時から野球が大好きで、1つ上の兄の後ろを追いかけて、小学校では「リトルジャイアンツ」、中学校では「裾野シニア」高校では「日本大学三島高等学校」で野球を続けてきました。三島市には18年間お世話になり、多くの仲間と恩師に恵まれ、美しい自然と心やさしい人たちにかこまれて野球に没頭することができたことにとっても感謝しています。



どんな子ども・学生でしたか？

あまり自己主張が得意ではありませんでしたが、誰にも負けない気持ちの強さはあったと思います。割とコツコツやるタイプだったので、雨でも走れる「かわせみトンネル」でよく走り込みなどをしていました。夢はプロ野球選手でしたが、小・中学生時代の同級生には、自分より上手な子もたくさんいて、まさか夢が実現するとは思っていませんでした。

これからの目標は？

ヤクルトスワローズの一員として、リーグ優勝、そして日本シリーズを制覇して、三島市に元気を届けたいです。皆さん応援よろしくお願います！

小澤選手からメッセージ

地元を離れている今、改めて三島の素晴らしさを実感しています。都会の感じがあり、自然も豊かな三島が一番素敵な街だと思います。将来、三島市出身ということに誇りをもって、日本全国、そして全世界で活躍してください。上手くいかずに諦めそうになっても、そこでもうひと踏ん張り頑張ってみて欲しいです。夢に向かって続けることが大切だと思います。頑張ってください！